

東海大学医学部附属八王子病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

トリプタンの慢性的乱用例に発生した RCVS（可逆性脳血管攣縮症候群）

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、RCVS について解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2010年10月1日 から 2020年6月30日 までの間に、当院の脳神経外科を受診された RCVS の患者さんです。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年6月30日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報等：年齢、性差、片頭痛既往の有無、内服中の薬剤(選択的セロトニン再取り込み阻害薬など)、雷鳴頭痛の発現期間、神経放射線学的所見として攣縮血管の局在と求心性移行、脳梗塞、くも膜下出血、脳出血、可逆性後頭葉白質脳症 (posterior reversible encephalopathy syndrome: PRES)、頸動脈解離、大脳白質病変、治療法、血管攣縮の改善まで要した期間、予後 (National Institute of Health Stroke Scale)

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5006）

研究責任者 脳神経外科 下田 雅美

問い合わせ担当者 脳神経外科 下田 雅美